

木馬会会報 (第40号)

＊ジャパンカップ特集＊



95/11/24

～木馬達の予想～

本誌 TP

何とかアルゼンチン共和国杯を当てたので連敗は15でストップしたが、なんなんだよ、メイショウテゾロってのはよ。ふざけんな、全く当たる気がせん。今週も外国人騎手が来てインターナショナルジョッキーズやら訳のわからんレースが多いので、ジャパンカップのみしかやらんだろう。今年の今までの賭け金が去年の同時期と比べて40万減。ざまあろJRAめ。調子に乗ってととどどん客が減るぜ。もっと昔からのファンを大切にしろ、少しは当たらせてみろ！この、オタンコナス！

ジャパンカップ

～予想者の屁理屈～

さて、私はあまり当ててはいないが、意外とジャパンカップと相性がいい。自分が目を着けた馬はほとんど上位にくる。時々、切り捨てた馬がくるので当たらない。まあ、そんなのあたりめえじゃないかと言われればそのとおりなのだが…。とにかくホーリックスの単勝と去年当てているので、相性がいいとさせてくれい。去年も書いたが、各国の馬を見極める極意をお披露目いたそう。

オセアニアの馬を見極めるための極意！

ローテーション、使われた距離は気にするな。その馬の本当の力を見極める。

ヨーロッパの馬を見極めるための極意！

肩書きは信用するな。早い馬場への適性だけで判断しろ。

アメリカの馬を見極めるための極意！

日本の馬に対するのと同じ研究でいい。いろいろな情報に惑わされるな。

日本の馬を見極めるための極意！

本当に強く、距離適性のある、勝負根性抜群の馬しかこない。フロックは絶対ない。

これらの極意は過去5年間の反省によって得られた血と涙の結晶である。ゴシック体にするほど気合が入っているのに気付いただろうか。では、1頭づつ見ていくこととしたい。

今年の外国馬は核になる馬が1頭もないという点で難解である。全体的なレベルはそこそこいいとおこう。ではヨーロッパ勢から。まず4歳牝馬のカーリング、ピュアグレンだが、4歳牝馬の連対は、オールアロングとマジックナイトのみ。大昔のオールアロングは別にして、マジックナイトは凱旋門賞2着に加え、なんとといっても2400mを2分27秒台で走った実績があった。この2頭は早い時計の裏付けがなく、マジックナイトほどの実力もないのでまずいらない。エルナンドは去年も書いたが、早い馬場が苦手である。しかも去年より馬自信に勢いがいとすればくるわけがない。ドイツのランドは、早い馬

場が滅法得意。早い馬場でしか勝っていないぐらいである。ドイツ馬としては一昨年プラティニが4着しているが、ランドはその馬より実力は上。M. ロバーツが日本行きを薦めたように、固い馬場への適性は相当なものがあるだろう。

さて、オセアニア地区だが、ストーニーベイとデーンウインはよくいっしょに走っていて、デーンウインはストーニーベイに負けたことがない。それにストーニーベイは逃げ馬なのでいい。デーンウインは実力的にはシャフトベリーアベニューや、ジューン級であり、ホーリックスや、ベタールースンアップレベルではない。ちなみにコックスプレートの惨敗はどの一流馬もやるもので気にすることはない（ムーニーバレー競馬場が狭いためだと考えられる）。ただ、今年の外国馬の中では上位にくる。

アメリカ馬だが、タークパサーとラシニーは明らかに格が下。タークパサーは楽に逃げてなんぼの馬で、いい。アウッドはアーリントンミليونを勝っているので実力的には遜色ない。あまり時計がかからなければ確実に追込むが、今年の夏までの成績は物足りないし、格が一つ下のような気がする。追込み一辺倒の脚質も、ジャパンカップに限っては大きな減点材料。サンドピットは確かに去年よりは強くなったし、脚質に幅も出た。逃げ馬もいて、2、3番手につけて、しぶとく粘りこむといったジャパンカップ向きの乗り方ができそうである。しかし、コタシャーンやパラディスクリークほどアメリカで中心になっていた馬ではなく、過信は禁物である。一昨年のスターオブジョージン程度の馬であり、また、ジャパンカップ2回目の外国馬は1回目以上の好成績を挙げられないジックスもある。

というのが外国馬の考察。核になる馬がおらず、日本馬の4連勝も十分考えられる。日本の馬の1番手は、僕のヒシアマゾン。日本馬に必要なのはとにかく勝負根性。その根性が1番あるのがあろうことが牝馬のヒシアマゾン。並んだら抜かせないその根性こそジャパンカップでは必要なだよ。こちらも追込み一辺倒なのが気にほなるが、といって切れ味で勝負する馬ではなく、4角で5、6番手につけられるだろう。臨戦過程、実力、勝負根性、他に死角はない。続いて、レガシーワールド、マーベラスクラウンと非常に似たタイプのタイキブリザード。脚質、勝負根性と勝ってもおかしくない。鞍上岡部も非常に魅力。マイルCSで俺を欺きやがって、ここで借りを返してもらうぜ。最強馬サリタブライアンは前走時体がガレて見えたのが気掛かり。リアルシャダイと同じヘイルトゥリーズン系らしく、調子を崩すとなかなか元に戻らないのかもしれないし、もともと離して勝っていた馬。競り合いになった時どうなるか不安もある。史上最強馬かと思っていたが、ミスターシービーの様な弱い世代の3冠馬でしかないのか。そうでないことを祈るが、有馬が狙いじゃないの。去年楽しませてもらったロイスアンドロイスだが、絶好調で3着。つまり勝負根性がそこそこにしかないのだ。去年より臨戦過程が不満なので去年以上は無理だろう。マチカネ、ナイスネイチャのような詰めの甘い馬もいない。ということで、予想は以下の通り。穴を開けるならロイスかラシニーだよ。

◎…ヒシアマゾン ○…ランド ▲…タイキブリザード
△…デーンウイン, サンドピット, ナリタブライアン, アウッド

アルゼンチンは賭け金少なく、回収率アップにはつながらなかった。現在の回収率80.1%

予想“へな”ってゴメンネ

ジャパンカップ

◎…ラシニー

○…サンドピット

▲…ヒシアマゾン

▲…デーンウイン

…“へな”の理屈…

過去のジャパンカップで好走した外国馬をみると、前走・前々走で好走していた馬が多い。今回それにあてはまるのはサンドピット、デーンウイン、ラシニー、サンシャンクの4頭。その中でサンシャンクに関しては、日本に来てから疲れが出たのかあまり運動をしていないらしい（と思ったら右後脚骨折で回避だそうだ）ので、これを除いた上記3頭が有力になる。

日本馬ではヒシアマゾンとナリタブライアンの現役最強コンビ以外は用はない。実力が違いすぎる。といってもブライアンに関しては、あのトウカイテイオーのように天皇賞の惨敗から見事に復活して圧勝する可能性もあれば、体調（というより筋肉）が戻らずにまた惨敗する可能性もあるように、圧勝か惨敗かの両極端のような気がする馬であってやはり重い印はつけづらい。結局は日本馬ではアマゾンだけでいいような気がする。また、いつも思うことだが、休み明けで富士ステークスを叩き、中1週で本番のJCに挑むというのはあまりにも苦しすぎはしないか。私は不安に思う。

今回のJCは傑出した外国馬が不在で日本馬断然有利という人が多いが、かなり人気をやるブライアンが不安な状態だし、先程述べた富士ステークス組もあてにならないとみれば、比較的人気のある外国馬が絡んでも結構いい配当になるのではないだろうか。

結論は印を付けた4頭のBOX買いで勝負する。

“へなの3歳馬コーナー”

①先週推薦した府中3歳Sのサクラスピードオーは惜しくも2着でした。しかし、私が思うにあれば展開による差で（スローペースで勝ち馬2-2-1に対し推奨馬3-3-3の差）決して実力の差ではない。確かにバブルガムフェローも物凄い能力を持った馬で当然来春のクラシックでは主役の一端を担うことになると思うが、スピードオーもそれと同じくらいの馬だということをお忘れにならない方がいいでしょう。バブルガムは次走朝日杯を予定しているそうで当然1 or 2人気になるでしょう。もし、スピードオーも果敢に朝日杯に

挑戦し出走できたら、人気もなくして絶好の狙い目になることでしょう。

②関東の秘密兵器！？

まだデビューしていませんがもう1頭“へな”が注目している馬がいます。その名はサクラケイザンオーです。またサクラかとお思いの方もいるでしょうが、絶対に覚えておいた方がいいでしょう。父はサンデーサイレンスで兄にサクラエイコウオーがいます。いつデビューするのかは知りませんが必ず活躍することでしょう。

予走者 四国の井崎

ワキを固めたつもりではあったのだが、知らないうちに大振りになっていた。大きく踏み込んだところでG110万馬券でノックアウトを食らってしまった。エリザベスの大勝分を大半戻してしまった。グスン。

それにしても今年は4才馬がダラシナイとみんなで思い出したとたんに4才重賞ウィナーたちに走られた。ジュニユイン、マイネルブリッジ、メイショウテゾロ。ヤラレター。

マイルCSは無印同志の1、2着で完敗。マーベラスは最終追い切り、パドックとも冴えがなく、トヨーリファールは取消しでもうこれはヒシアケボノ（パドック最高）で勝負。やった！と思ったところを鋭く差された。横山騎手は10Rでもハギノエンデバーで大外追い込み3万馬券を産んでいた。開催を重ねた京都では大外有利。土曜日の特別は大外馬が3頭完全連対。気がついてはいたのだが、思い切っていけなかった。無念。最後の京都開催で狙ってみるか。

気を取り直して今週も予想しようとするがダメージが大きく頭が重い。だってジャパンカップは難しいもん。

ジャパンカップ

◎…サンドピット

○…ヒシアマゾン

▲…ナリタブライアン ▲1…エルナンド ▲…ランド, カーリング

東京日曜日のメインレース『日本-ブラジル修好100周年記念-ブラジルカップ』が引っ掛かってしょうがない。ワザワザどうしてジャパンカップの前週にやるのか？これはもうブラジル産のサンドピットをJRAが応援していると思えない。しかもブラジルカップはダート戦でますますサンドが臭い。同馬は今期好調で、昨年のJCでは予想外の1番人気して、不利があつての5着。騎手ナカタニも今期好調ときは昨年の雪辱を果たす公算が強い。

外国馬の血統診断はTP氏におまかせする。サンドピット以外は名前の売れているエルナンド、カーリングにどうしても印がいつてしまう。あとロバーツの進言でやって来たランド。

さて日本馬ではなんといってもナリタブライアンとヒシアマゾン。今回に限っては順調さからヒシアマゾンを上位にした。天皇賞後記でも触れたように、ナリタブはオグリとラップする。オグリの巻き返しは有馬記念だった。ナリタブライアンはおとなしいのが気になっている。函館で見た時も、天皇賞も妙におとなしかった。調教で初めて乗った武騎手のコメントにもおとなしいという言葉が出ている。それを落ち着きと勘違いして、いい方に解釈していたが間違っていたようだ。ダービーで大外を伸びたとき

あのド迫力が果たして戻っているかがカギ。ミーハーをやめた井崎としても同馬の圧勝は期待してやまない。ヒシアマゾン今回は3冠馬を倒す数少ないチャンスだろう。先週新潟で活躍した中館騎手は騎乗が良くなってきた。期待できる。それにとっておきのネタは次のとおり。

20日武騎手の結婚披露パーティーがあり、ナリタブライアン1人気は確実だろう(3.0倍?)。結婚式が確定した後のオークスではダンスパートナーを本命としたが、今回はどうもピンとこない。写真をながめていたら量子婦人のドレスが青と白の横縞模様だった。なんだヒシアマゾンの勝負服と同じではないの。ものすごい予言ではないか。量子婦人は競馬関係者多数の前で堂々とヒシアmazonを予言している。これに乗らない手はない。でもって対抗とするが、単勝も買う。

今回は完全にタカモト流の予想でいきます。お祭り予想だ。

予想点数は7点までいいというので、◎から5頭、○から▲11をお願いします。

さて、年も押し迫って、残り僅かとなりました。木馬会では今年も忘年会を企画しております。今回覧中の用紙により日にちを決定し、お知らせいたしますので宜しくお願いします。

第15回 ジャパンカップ

[illegible]

	天秋	菊花	イレ女	マWC	J C	阪北	朝日	S ^{7°}	有馬	桜花	皐月	天春	安田	オ-クス	優駿	宝塚	天秋	菊花	イレ女	マWC	J C
TP	○	○	○	◎	◎	○	○	○	◎							○					
へなりん	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○					
ナリのリナー	○	○	○			○	○	○						○		○			☆		
四国の井崎	○		○	○		○	○	○						○		○			☆		
覆面デスラー	○	○	○	○	○	○	○	○	◎					○		○					
ラッキー	○	○	○	○	○	○	○	○								○					
YO	○	○	○	○	○		○									○					
ジュリエリフェル	○	○	○	○	○		○									○					
トイックマン・ンディ	○	○	○				○							○							
ミスター-X		○	○				◎									○					
おげらくん										◎	◎					○					
N=7VVS											◎					○					

○・・・20倍 ◎...20～50倍 ☆...50倍～